

1. 目的

横河電機製 PLC FA-M3R の SP66-4S、SP67-4S の SIO ポート (シリアル)、TX ポート (Ethernet) と V8i シリーズを接続 する際の設定手順を説明します。

本資料では、SP66-4Sとの接続を例にして説明します。

## 2. 接続環境

モニタッチ	: V8i シリーズ、V8 シリーズ+CU-03	3-2 または CU-03-3
PLC	: FA-M3R SP66-4S	
使用ソフト	: WideField2 Version R5.01	※注意 Ethernet TCP/IP 接続の場合、CU-03-2/CU-03-3 を使って
		の接続はできません。TCP/IP 接続の場合は V8i シリーズ

の内蔵 LAN ポートと接続してください。

3. 設定方法

### ■SIO ポートとの接続(シリアル接続)

SP66-4Sの SI0 ポートに、以下の設定で接続します。

ボーレート	:	115200bps
パリティ	:	偶数
チェックサム	:	なし

#### <u>V-SFT-5の設定</u>

①「システム設定」→「接続機器設定」で「<u>横河電機 FA-M3R</u>」を選択します。

⊷ 接続機器設定		
<ul> <li>✓ 務袋機器設定</li> <li>✓ V810S (800 * 600) 32K色</li> <li>● 読込/書込エリア</li> <li>● PLC1: CN1: [検河電機: FA-M3R]</li> <li>× PLC2: 未接続</li> <li>× PLC3: 未接続</li> <li>× PLC3: 未接続</li> <li>× PLC5: 未接続</li> <li>× PLC5: 未接続</li> <li>× PLC5: 未接続</li> <li>× PLC6: 未接続</li> <li>× PLC8: 未接続</li> <li>● C: その他</li> <li>● づ フリンタ: USB</li> <li>● カードレコーダ: 未接続</li> <li>● ジェレータ: MJ1</li> </ul>	PLC1 接続機器 PLC メーカー 横河電機 機種 FA-M3R 接続先ポート CNI 変更 デフォルト 適(語数定 細かい酸定 接続先設定 ラダーモニタ ラダー転送ポート 接続形式 1:1 (語号レペル RS-232C ▼ Uトライ回数 3	
	ボーレート 19200BPS V タイムアウト時間 200 🗘 *10n	nsec

#### Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1053-1	2⁄11	
----------------	-----------------	------	--

②「通信設定」で以下のように設定します。

信号レベル	: RS-232C
ボーレート	: 115K BPS
データ長	:8ビット
ストップビット	:1ビット
パリティ	:偶数
伝送形式	:サムチェックあり

⊷€ 接続機器設定					
<ul> <li>■ V810S (800 * 600) 32K色</li> <li>■ 読込/書込エリア</li> <li>■ PLC1: CN1: [陳河電機: FA-M3R]</li> <li>&gt; PLC2: 未接続</li> <li>&gt; PLC3: 未接続</li> <li>&gt; PLC3: 未接続</li> <li>&gt; PLC4: 未接続</li> <li>&gt; PLC6: 未接続</li> <li>&gt; PLC7: 未接続</li> <li>■ C70地</li> <li>□ プリンタ: USB</li> <li>□ ブリンタ: USB</li> <li>□ ブリンタ:</li></ul>	PLC1 接続機器 メーカー 機種 接続先ポート デフォルト 通信設定 加かい 認 接続形式 信号レベル ボーレート データ長 ストップビット パリティ 局番 伝送形式	PLC 横河電機 FA-M3R CN1 定 接続先設定 ラダーモニタ ? 111 マ RS-232C マ 115K BPS マ 8ビット マ 1ビット マ 偶数 マ 1 マ サムチェックあり マ	ラダー転送ポート 該定。 リトライ回数 タイムアウト時間 送信遅延時間 スタートタイム コード 文字処理 通信異常処理 復帰条件 ✔ 復帰寺間 ✔ スクリーン切替時	3 交更 3 200 ↓ *10msec 1 ↓ *msec 0 ↓ *sec DEC ↓ LSB→MSB ↓ (停止 ↓ 1 ↓ *10sec 自動)復時	
■ → 接続設定	4				

設定後、接続機器設定画面を閉じます。

V8i シリーズの通信設定は完了です。画面データを転送します。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1053-1	3⁄11

# <u>WideField2の設定</u>

- ① WideField2を起動し、プログラムを作成します。
- ② PCと SP66-4S を接続します。[オンライン] → [接続] をクリックします。[WideField2] ダイアログが表示されます。[通信設定] ボタンをクリックします。

🥺 Wide Field2 [PROGRAM]					
ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 表示(V) プロシュウト_0	オンラインローテンドック・1米寸型	9-10( <u>1</u> )		Wide Field2	
	接続(C) 切断(D)	Alt+C Alt+D	<u>+#</u> @@@	FA-M3と接続します。	
	プログラムモニタ(Ⴒ) マクロモニタ( <u>M</u> )	Alt+P Alt+M		接続媒体: USB	
	1/0構成表示(2) デハバスモニタ( <u>2</u> ) 登録モニタ( <u>A</u> )	*		ケートウェイユニット	<u>.</u> ]
白-○ 実行ブロン゙ラム PROGRAM - ● F35P66-45 - ● 構成定義 - ● フンフィギュレーション - ● エンフィギュレーション	12774ギュレーション表示(E) CPUプロがラム情報表示(J) 共通信号定義(S) CPUプロバティ表示(Y)	Alt+H Alt+G		□ [接続先 ] □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	USB7~7%
<ul> <li>● 定数定義</li> <li>● CPU710パティ</li> <li>由・回 構成710パラ</li> <li>ロ・回 構成710パラ</li> <li>ロ・回 ブロックー覧(灰色は実行710パラムへ未登録の710</li> </ul>	運転モード(Q) ダウンロード(Q) アックロード(Q) ファイルとCPUの照合(Z)	* * *		- <b>キーブ*オユニオ/a)</b> 接続先	
	ROM管理(R) 拡張機能(E)	+		CPU番号 💽 🗹 0:USB接続CPU	
	高機能モジュールレジスタモニタロ	,	J	OK         キャンセル         通信設定         評価	赛続履歴 <b>147°</b>

[環境設定]ダイアログが表示されます。[通信設定]タブを選択し、通信媒体を選択します。

これで PC~CPU 間の通信が可能になります。

環境設定	
文法チェック設定 - <u>ツールパー設定</u> 電子メール設定   フォルダ設定 通信設定   回路表示/入力設定	日本語変換設定
┌通信媒体——	
○ USB (WindowsMe.98は利用不可) USB)通信	
コネクションタイムアウト 1 🚍 s	
○ RS-232C (KM13使用時はRS-232Cを選択) ○ モデム経由RS-232C	モデム設定
R5-2220周日 接続方法 © 自動認識 C 固定 9600bpsハツティ偶数	<b>v</b>
通信\$/4万/h 1 💼 s	
リトライ回数 2 🚊	
COM木°-ト番号 1 <u>一</u>	
C Ethernet	
相手先IPアドレス 172:16:200.124 🔽	
□추ንションタイムアウト	

③ V8i シリーズと SIO ポートをシリアル接続する設定をします。

[プロジェクト] → [コンフィギュレーション]をクリック、もしくは [プロジェクトウィンドウ] から [コンフィギュレーション] を選択します。

🧐 Wide Field2 [PROGRAM]			
ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 表示(V)	プロジェクト(リ) オンライン(リ) デバッグ・保守・	ወ) ୬ール(፲) ዕィントኛ	י∭ ^ルフ°( <u>H</u> )
	実行プログラム構成定義( <u>P</u> ) CPU機種変更・プロノハティ( <u>A</u> )	Ctrl+D Ctrl+G	
	コンフィキ <sup>*</sup> ュレーション( <u>C</u> ) ユーザマカジェーム・ション(11)	Alt+Ctrl+C	
	共通信号定義⑤ 定数定義♡	Alt+S Alt+Ctrl+Y	
🖻 ጋ՞ロジェクト	文法チェック( <u>K</u> )	Alt+K	
□ □ □ □ □ □ □ □ 〒 こ ま つ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	プロジェクト検索(ファイルから検索)(E) プロジェクト命令検索(ファイルから検索)(Q) プロジェクト置換(Q) レ/O装着位置変更(Y) プロジェクトのデバイス使用状態(L)	Ctrl+Shift+F Alt+Ctrl+O Alt+Ctrl+G Alt+Ctrl+X Alt+V	
<ul> <li></li></ul>	ファイル追加Ψ ファイル名変更( <u>R</u> ) ファイル削除( <u>D</u> )	Alt+Ctrl+A Ctrl+Shift+R Alt+Ctrl+D	
,, マクロー・覧	マ加登録(M) マ加取り出し(E)	Alt+Ctrl+M Alt+Ctrl+Shift+M	
	データ変換(ソ)	•	

④ [コンフィギュレーション] ダイアログが表示されます。

[通信設定]タブを選択し、[通信モード]、[CPU パソコンリンク機能の設定]を以下のように設定し、[OK]を クリックします。(※口終端文字、ロプロテクト機能のチェックは入れないでください。)

۲۷۶٬۴ <sup>±</sup> ۵۶-۶۹۶ 🔀
デルビス容量 運転制御   初期デー残設定   DIO設定   FAUンク設定   サンフリングトレース   通信設定   ROM設定   割り込み設定   停電・ロー加   共有リフレッシュ   FL-net リフレッシュ   機能削除
_通信モート* [115200bps/\"ソティ偶数 ]▼
<ul> <li>✓ パウユングシク機能を使用する</li> <li>✓ チェックサム</li> </ul>
OK キャンセル デフォルト ヘノルブ

Hakko Electronics Co., Ltd.

⑤ [オンライン] → [ダウンロード] → [プロジェクト] をクリックします。

[ダウンロード] ダイアロク	が表示されま	す。[	[OK] をクリック	っします。			
🚱 Wide Field2 [PROGRAM]							
Wide Field Z         [PROGRAM]           77//// 編集         2         2         7 <td< th=""><th>オンライン(U) デパッグ・(保守(U)) 接続(C) 切断(D) フログラムモラ(P) マカモラ(M) ンの構成表示(S) デパイスモラ(A) 登録モラ(A) 型フィギョレーション表示(F) CFUフログラム(情報表示(U)) 共通信号定義(S) CFUフログラム(情報表示(C))</th><th><mark>"γ−μ(T)</mark> Alt+C Alt+D Alt+P Alt+M Alt+H Alt+G</th><th><u>7,1,1+7)₩ vk7'₩</u> <u>+</u> # 開 截 € € <u>-   照 照 単 開 際 </u>-</th><th>*<b>@</b>@  </th><th></th><th></th><th></th></td<>	オンライン(U) デパッグ・(保守(U)) 接続(C) 切断(D) フログラムモラ(P) マカモラ(M) ンの構成表示(S) デパイスモラ(A) 登録モラ(A) 型フィギョレーション表示(F) CFUフログラム(情報表示(U)) 共通信号定義(S) CFUフログラム(情報表示(C))	<mark>"γ−μ(T)</mark> Alt+C Alt+D Alt+P Alt+M Alt+H Alt+G	<u>7,1,1+7)₩ vk7'₩</u> <u>+</u> # 開 截 € € <u>-   照 照 単 開 際 </u> -	* <b>@</b> @ 			
- ◆ 共通信号定義 - ◆ こだ定義 - ◆ CPU7D小5ィ 日 → 1年か1かう 日 → 10小 覧(のとは実行7Dから4へ未登録の7D - マカー覧			7日ンセト(2) C 7日ッシーマル(2) C CPUフロハ <sup>*</sup> 7(2) C	rt+Shift+P ようして <b>タウンロート</b> 転送対象	。 します。 凌指定してください	10	×
I I				転送対 ▼ 5% ▼ 回路 ▼ 信号	またことで、ここで、 急 ショメント・サフショメント ・定義	ОК 	

⑥ [WideField2] ダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。



⑦ [WideField2] ダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。



SP66-4S側の設定は以上です。電源を再投入します。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1053-1	6⁄11
テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1053-1	6⁄11

# ■TX ポートとの接続(Ethernet 接続)

SP66-4SのTXポートと接続します。例ではUDP/IPで接続します。

# <u> V-SFT-5の設定</u>

① 「システム設定」→「接続機器設定」で「横河電機 FA-M3/FA-M3R (Ethernet UDP/IP)」を選択します。

⊷ 接続機器設定	
□ ■ V810S (800 * 600) 32K色 ▲ □ □ 読込/書込エリア	PLC1
	接続機器 PLC
× PLC3 : 未接続 × PLC4 : 未接続	メーカー 横河電機
× PLC5:未接続 × PLC6:未接続	機種 FA-M3/FA-M3R(Ethernet UDP/IP)
→ ¥ PLC7:未接続 → ¥ PLC8:未接続	
□	
ダ:未接続 ダ:未接続 	通信設定 細かい 設定 接続先設定 「FA-M3/FA-M3R (Ethernet TCP/IP)」に設定してください。
	接続形式 1:1 ※TCP/IP の場合 CU-03-2/CU-03-3 を使っての接続は できませく
	タイムアウト時間 500 🗘 *10msec ポートNo 10001 💲

② 「通信設定」タブでポート No. を 10001 に設定します。

テクニカルインフォメーション	No. TI	I-M-1053-1	7⁄11
			.,

③ 「接続先設定」タブを表示させます。

PLC テーブルに PLC の IP アドレスとポート No. 12289 を設定し、「接続先」で設定した PLC テーブル No. を選択します。

⊷ 接続機器設定	
<ul> <li>■ V812S (800 * 600) 32K色</li> <li>■ 読込/書込エリア</li> <li>■ PLC1 : 内蔵LAN: [横河電樔 : FA-N</li> <li>&gt; PLC2 : 未接続</li> <li>&gt; PLC3 : 未接続</li> <li>&gt; PLC5 : 未接続</li> <li>&gt; PLC5 : 未接続</li> <li>&gt; PLC6 : 未接続</li> <li>&gt; PLC6 : 未接続</li> <li>&gt; PLC7 : 未接続</li> <li>&gt; PLC7 : 未接続</li> <li>= G その他</li> <li>□ → 「レコーダ : 未接続</li> <li>■ 「レンコーダ : 未接続</li> <li>■ Sy5スイッチ : 未接続</li> <li>■ Sy5スノッチ : MJI</li> </ul>	PLC1 接続機器 PLC メーカー 横河電機 縦種 FA-M3/FA-M3R(Ethernet UDP/IP) 接続先ポート 内蔵LAN 変更 デフォルト ずフォルト プロールト PLCテーブル No.局名 IPアドレス ポートNo PLC のポート No.は「12289」、または「12291」の固定です。 どちらに接続するかは、後述WideField2の設定手順⑧の 「HIGHER-IEVEL」LINK SERVICE1の設定と合わせます。
■编 接続設定	8     10       10     11       11     12       マーカル画面で設定する        接続確認メモリ     ●       PLC1メモリ     ●       1     ⇒

- ④ 設定後「接続機器設定」画面を閉じます。
- ⑤ V8i シリーズ本体の IP アドレスを設定します。

「システム設定」→「Ethernet 通信」→「自局 IP アドレス」で V8i シリーズの IP アドレスを設定します。

IPアドレス設定						[
IPアドレス設定 IPアドレス設定	定(拡張)					
☑野設定を行う						
□ IPアドレスをネットワーク	フテーブルガ	ら選択	する	No. 0	×	
IPアドレス 192	168	1	100			
□ デフォルトゲートウェイ		0	0	0	0	
🗌 サブネットマスク		0	0	0	0	
ポートNo.	10000					
送信タイムアウト時間	15		*sec			
リトライ回数	3					
~メモリプロテクト	-					
□内部メモリ			メモリカー	ドメモリ		
						_
			OK		キャンセル	,

以上で V8i シリーズの設定は終了です。画面データを転送します。 Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No	. TI-M-1053-1	8/11

# <u>WideField2の設定</u>

- WideField2 を起動し、プログラムを作成、PC と SP66-4S を通信するための設定をします。 P3/10①~②を参照してください。
- ② V8i シリーズとTX ポートを Ethernet 接続する設定をします。

[CPU プロパティ]を取得します。[CPU プロパティ]を取得済みの場合は、⑤に進みます。 [オンライン] → [アップロード] → [CPU プロパティ] をクリックします。本体から [CPU プロパティ] をア ップロードします。

🊱 Wide Fie Id2						
ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 表示(V)	オンライン(L) デバッグ・保守(D)	ツール(T)	ウィンドウ(W) ヘルフ°(H)			
<b>6 6 6 6 6 6 6 6</b>	接続( <u>C</u> ) 切断( <u>D</u> )	Alt+C Alt+D				
	フ <sup>°</sup> ログラムモニタ( <u>P)</u> マクロモニタ( <u>M</u> )	Alt+P Alt+M				
₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	I/O構成表示⊗… デバイスモニタ\⊻) 登録モニタ( <u>A</u> )	+ +				
<ul> <li>□</li> <li>■ 実行 フ ' D ' ブ ろ TI</li> <li>□</li> <li>● F3SP66-4S</li> <li>□</li> <li>● ブ ノ オ ' ム レーション</li> <li>□</li> <li>● ブ ノ オ ' ム レーション</li> <li>□</li> <li>● 「 → 目 (5 = 10 × 5)</li> </ul>	コンフィギュレーション表示( <u>F</u> ) CPUプコカクラム情報表示( <u>J</u> ) 共通信号定義(S) CPUプココパティ表示( <u>Y</u> )	Alt+H Alt+G				
□ 構成710ック 	運転モートヾ( <u>O</u> ) ダウンロートヾ( <u>L</u> )	) }				
□	アップロード(U) ファイルとCPUの照合(Z)	) 	7'ከジ±ウト(₽) Alt+Ctrl+P 7'ከジ±ウト+CPUフ'ኪハ°ティ( <u>C</u> )			
	ROM管理( <u>R</u> )	•	フロック・マクロ(B) Alt+Ctrl+B 信号定義(T) Alt+Ctrl+T			
	拡張機能( <u>E</u> )	Þ	CPUንግለኝተ( <u>B</u> ) Alt+Ctrl+Shift+W			
	高機能モジュールレジスタモニタの	•				

③ [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。ファイル名を付け、[保存]をクリックします。

<u>Ϲ</u> ℙ <mark>ሀフჼ</mark> 肌۸ჼティファイル	を名前を付けて保存	? 🛛
保存する場所①:	Fam3pjt 🗨 🖻 📸 💷 🗸	
CPUSample CPUSample CPUSample CPUSample CPUSSample		
ファイル名(N):	f3sp66-4s.yprp	
ファイルの種類(工):	CPUブኪヘჼティファイル(*.YPRP)	

④ [WideField2] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。



## Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション No. TI-M-1053-1 9∕1
------------------------------------

## ⑤ [CPU プロパティ] ダイアログが表示されます。

생 WideField2 [PROGRAM] - [CPU711/1774(F3SP66-4S) CPU]									
🤹 ファイル(E) 編集(E) 検索	⑤ 表示── プロジェクト(J) オンライン(L) テ	ひいっり	፦保守(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルフ	°( <u>Н</u> )	_ & ×				
◎活怒診認認認認問』─────────────────────────────────									
🖻 プロジェウト	LOAD		設定項目	設定値	אלאב .				
□ ■ 実行プログラム ■ 実行プログラム			NETWORK	1	NETWORK設定をロードする/しない Dロードしない、1:ロードする				
構成定義		2	FL-NET	•	Reserved				
		3	ETHERNET	1	ETHERNETをロートする/しない Dロートしない、1ロートする				
定数定義 CPUプロパティ		4	SOCKET	1	SOCKETをロートする/しない Dロートしない、1:ロートする				
● 構成2,10-27 ■ 構成2,10-27 ■ 単に 1 PROGRAM ● ■ 7,10-2 覧 ■ マクロー覧	□	5	SOCKET_ADDRESS	1	SOCKET ADDRESSをロートする/しない Dロードしない、1:ロートする				
		6	HIGHER-LEVEL_LINK_SERVICE	1	HIGHER-LEVEL_LINK_SERVICEをロードする/しない Dロードしない、1:ロードする				
		7	FTP_CLIENT	1	FTP CLIENTをロードする/しない 0ロートしない、1ロードする				
		8	FTP_CLIENT_ADDRESS	1	FTP_CLIENT_ADDRESSをロードする/しない 0:ロートしない、1:ロートする				
		9	FTP_SERVER	1	FTP_SERVERをロードする/しない 0:ロートしない、1:ロードする				
	FTP_SERVER	10	ROTARY_SWITCH	1	ROTARY_SWITCHをロードする/しない 0:ロードしない、1:ロードする				
		11	NET_FILTER	1	NET FILTERをロードする/しない 0ロードしない、1ロードする				

⑥ [NETWORK] フォルダをクリックします。[NETWORK\_SELECT] を "1" に設定します。

💼 LOAD	1	設定項目 NETWORK_SELECT	設定値 1	コメント 前面ユネクタのネットワーク種別 1=Ethernet
	Γ			
	E			

#### ⑦ [ETHERNET] フォルダをクリックします。SP66-4SのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。

DAD		設守道日	設定体	
		ETHER_MY_IPADDRESS	192.168.1.1	自IP7トリスの指定 0.0.0.0 - 255.255.255.255
		ETHER_SUBNET_MASK	255.255.255.0	サフ ネットマスクのアト レス 0.0.0.0 - 255.255.255.255
		ETHER_DEFAULT_GATEWAY	0.0.0.0	デフォルトケートウェイのアドレス 0.0.0.0 - 255.255.255.255
	4	ETHER_PRIMARY_DNS	0.0.0.0	7*ライマリDNSサーハ*のアトドレス 0.0.0.0 - 255.255.255.255
□	5	ETHER_SECONDARY_DNS	0.0.0.0	セカンダリDNSサーハ・のアト・レス 0.0.0.0 - 255.255.255.255
ETHERNET	6	ETHER_MY_HOST_NAME	FAM3R	自和对名 ASCII 64文字以内
	7	ETHER_DOMAIN_NAME		ネットワークトジイン名 ASCII 64文字以内
HIGHER-LEVEL_LINK_SERVICE	8	ETHER_PRI_DOMAIN_SUFIX		プライマリドメインサフィックス ASCII 64文字以内
FTP_CLIENT	9	ETHER_SCN_DOMAIN_SUFIX		セカンタット・メインサフィックス ASCII 64文字以内
FTP_SERVER				

(8) [HIGHER-LEVEL\_LINK\_SERVICE]  $\ensuremath{\mathsf{7}}$   $\ensuremath{$ 

以下のように設定します。(UDP/IP、バイナリ形式)

- LOAD		=ル	三八二十八古	5.0.1		
	1	HLLINK_PROTOCOL_A	1	上位リンクサービス/ボートA フロトコル O=TCP/IP, 1=UDP/IP		ポート番号 12289
	2	HLLINK_DATA_FORMAT_A	1	ホートA コマントデータ形式 D=ASCII形式 1=ハイナリ形式		
	3	HLLINK_PROTOCOL_B	1	上位リンクサービス/ポートB プロトコル 0=TCP/IP, 1=UDP/IP		
	4	HLLINK_DATA_FORMAT_B	1	ポートBコマントデータ形式 0=ASCI形式、1=ハイナリ形式	-	ポート番号 12291
□ · □ 設定 · · □ NETWORK	5	HELINK_PROTECT	U	書込み711797 ロ=書込み許可、1=書込み不許可		
SOCKET						
HIGHER-LEVEL_LINK_SERVICE			1、2 の討	と定はポート番号 12289 の設定		
	1		3、4の討	と定はポート番号 12291 の設定で	ぎす。	
- FIP_CLENT_ADDRESS FTP_SERVER TCP/IP 接続時は1、3の「設定値」を「0」に設定してくだ						設定してください。

⑨ [ファイル] → [上書き保存]をクリックし、保存します。

[オンライン] → [ダウンロード] → [プロジェクト+CPU プロパティ] をクリックします。 [ダウンロードする CPU プロパティファイルの選択] ダイアログが表示されるので、ファイルを選択し、 [開く] をクリックします。転送が開始されます。

<u>ダウンロードするCPU</u>	『ロパティファイルの選択		? 🛛
ファイルの場所型:	PROGRAM	- + E 📸 🖬	
DWNLOAD			
11 Taspoo-4s.yprp			
ファイル名( <u>N</u> ):	f3sp66-4s.yprp		「 開( の 一
ファイルの種類(工):	CPUプロパティファイル(*.YPRP)	•	キャンセル

SP66-4S側の設定は以上です。電源を再投入します。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1053-1 11.	∕11
----------------	---------------------	-----

#### 4. 接続

◆SIO ポートと接続する場合(RS-232C)

V8 シリーズ CN1 ポートと接続する場合

横河電機製 KM11-xT + ジェンダーチェンジャー

V8 シリーズ MJ ポートと接続する場合

横河電機製 KM11-xT + 下記結線

V8 シリーズ (MJ1/2) KM11-xT (RJ-45) D-sub 9pin(Male:凸) FG FG RD 7 2 RD S D 8 3 SD 5 SG SG 5 7 RS 8 сs

\*ツイストシールド線使用

◆TX ポートと接続する場合

市販の LAN ケーブルをご使用ください。
 HUB を使用して接続する場合 : ストレートケーブル
 HUB 未使用で1:1 接続の場合 : クロスケーブル

お問い合わせは... 発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL:076-274-5130 FAX:076-274-5208

Hakko Electronics Co., Ltd.